

① 研究業績

1. 著書（3本）

- ・ 太田亨・安龍洙・村岡貴子・門倉正美（編）、佐藤尚子・金蘭美他 12 名著（2023）、『日本で学ぶ理工系留学生・教育・研究・留学生活』ココ出版
- ・ 金澤裕之（編）、嵐洋子・植松容子・奥野由紀子・金庭久美子、金蘭美、西川朋美、橋本直幸著（2014）、『日本語教育のためのタスク別書き言葉コーパス』ひつじ書房
- ・ 韓国日本語学会（編）、金庭久美子、金蘭美、金玄珠、谷誠司、チョ・ナムソン他 29 名共著（2013）、『日本語教育研究の最前線 2013』チェックサラン

2. 論文（18本）

- ・ 「メール文における読み手配慮表現の指導について—作文支援システム『さくらだより』の基礎データの分析から—」金蘭美・金庭久美子、ときわの杜論叢、第 11 号、印刷中、査読有、2024 年 3 月
- ・ 「メール文における連用中止形の使用状況」金蘭美・金庭久美子、日本語教育方法研究会誌、Vol.30-2、74 頁-75 頁、査読無、2024 年 3 月
- ・ 「メール文に見られる読み手配慮表現の誤用の傾向」金蘭美・金庭久美子、日本語教育方法研究会誌、Vol.30-1、110 頁-111 頁、査読無、2023 年 9 月
- ・ 「作文支援システム「さくら」の開発—フィードバック方法の改善—」金蘭美・金庭久美子・川村よし子、日本語教育方法研究会誌、Vol.29-2、92 頁-93 頁、査読無、2023 年 3 月
- ・ 「大学院科目で日本語教育における管理運営業務を扱う試み」中川健司・浦由実・半沢千絵美・金蘭美、第 59 回日本語教育方法研究会誌、Vol.29-1、78 頁-79 頁、査読無、2022 年 9 月
- ・ 「メール文に見られる用件の切り出し方の比較—タスクの種類および使用表現に注目して—」金蘭美・金庭久美子・金玄珠、日本語教育研究、第 59 輯、105 頁-117 頁、査読有、2022 年 5 月
- ・ 「メール文に見られる条件表現「なら」の使用について—メールの発信・返信別に注目して—」金蘭美・金庭久美子、ときわの杜論叢、第 9 号、1 頁-16 頁、査読有、2022 年 3 月
- ・ 「YNU コーパスにおける「テシマウ」の使用の特徴」金庭久美子・金蘭美・曹娜、日本語・日本語教育、第 4 号、立教大学日本語教育センター、55 頁-73 頁、査読有、2021 年 3 月
- ・ 「「てしまう」の指導法に関する—考察—物語タスクにおける使用状況の分析から—」金蘭美・金庭久美子、日本語教育方法研究会誌、Vol.27、4 頁-5 頁、査読無、2021 年 3 月
- ・ 「作文支援システムに必要な「支援」—日本語学習支援システムの変遷と展望—」金蘭美・金庭久美子、ときわの杜論叢、第八号、40 頁 - 52 頁、査読有、2021 年 3 月
- ・ 「専門科目（物理）と漢字のコラボレーション授業：物理の文脈を利用した漢字学習の有効性」太田亨、佐藤尚子、藤田清士、金蘭美、金沢大学国際機構紀要、第 2 号、1 頁-17 頁、査読有、2020 年 3 月
- ・ 「日本語メール文に見られる伝聞表現—相手からの情報を前提情報とする場合」金蘭美・金庭久美子、金玄珠、日語日文学、第 84 輯、23 頁-38 頁、査読有、2019 年 11 月
- ・ 「専門科目（物理）と漢字のコラボレーション授業：物理の文脈を利用した漢字と専

門語彙・表現学習の重要性」太田亨、佐藤尚子、藤田清士、金蘭美、金沢大学国際機構紀要、第1号、1頁-15頁、査読有、2019年3月

- ・ 「留学生支援と異文化理解を目的とした教養科目—サマープログラムのためのサポーター育成の実践と課題—」、金蘭美、半沢千絵美、ときわの杜論叢第六号、1頁-9頁、査読有、2019年3月
- ・ 「専門科目(物理)と漢字のコラボレーション授業：物理の文脈を利用した漢字と専門語彙の教育・学習の必要性を考える」太田亨、佐藤尚子、藤田清士、金蘭美、金沢大学留学生センター紀要、第21号、1頁-14頁、査読有、2018年3月
- ・ 「韓国人日本語学習者の断りのメール文の特徴—読み手によい印象を与えない表現を中心に—」金蘭美、金庭久美子、金玄珠、『日本語学研究』、第55輯、3頁-18頁、査読有、2018年3月
- ・ 「YNU 書き言葉コーパスに見られる日本語学習者の接続詞の使用について—韓国語母語話者の「逆接」関係の接続詞に注目して—」金蘭美、横浜国大言語研究、第35号、89頁-93頁、査読無、2017年3月
- ・ 「YNU 書き言葉コーパスに見られる日本語学習者の接続詞の選択—韓国語母語話者の「それで」の多用に注目して—」金蘭美、ときわの杜論叢第4号、52頁-68頁、査読有、2017年3月

3. 科研費実績

基盤研究(B) 令和3年度～令和7年度(21H00537)

研究代表者：太田亨

研究分担者：安龍洙、村岡貴子、金蘭美、佐々木亮造、藤田清士、寺井智之、菊池和徳、有川友子、ライアン優子、栗原由加、眞住優助

研究題名：アジア圏留学生の学修・キャリア支援教育における総合的支援に関する学際的研

基盤研究(C) 令和1年度～3年度、19K00734

研究代表者：金蘭美

研究分担者：金庭久美子(立教大学)

研究協力者：川村よし子(元東京国際大学)、村田裕美子(ミュンヘン大学)

研究科題名：初級から学べる段階別学習型作文支援システムの構築

基盤研究(B) 平成28年度～32年度、16H03434

研究代表者：太田亨

研究分担者：村岡貴子(大阪大学)、安龍洙(茨城大学) 畝田谷桂子(鹿児島大学)、佐藤尚子(千葉大学)、佐々木良造(秋田大学)、足立祐子(新潟大学)、金蘭美(横浜国立大学)、齋藤武久(環境デザイン学系教授) 藤田清士(大阪大学)、菊池和徳(大阪大学)、長谷川貴之(富山高等専門学校)

研究課題名：非漢字圏アジア留学生のための日本語教育と理工系専門教育の高大接続を目指す協働研究

4. 学会発表、他

(1) 口頭・ポスター発表(25件)

- ・ 「特定の読み手が存在する書き言葉タスクにおけるフィードバックの方法 作文支援システム『さくらだより』のフィードバックを例に」金蘭美、韓国日本語学会第49回国際学術発表大会、韓国ソウル中央大学校、2024年03月23日

- ・ 「メール文における連用中止形の使用状況」金蘭美・金庭久美子、第 62 回 日本語教育方法研究会、名古屋大学（愛知キャンパス）、2024 年 3 月 3 日
- ・ 「メール文に見られる読み手配慮表現の誤用の傾向—作文支援システム『さくらだより』の基礎データより—」金蘭美・金庭久美子、第 61 回 日本語教育方法研究会、オンライン開催、2023 年 9 月 9 日
- ・ 「メール文を通じた読み手配慮表現の学習—作文支援システム「さくら」を用いて—」金蘭美・金庭久美子、韓国日語日文学会 2023 年度夏季国際学術大会（オンライン開催）2023 年 06 月 17 日
- ・ 「作文支援システム「さくら」の開発—フィードバック方法の改善—」金蘭美・金庭久美子・川村よし子、第 60 回日本語教育方法研究会、東京外国語大学大岡山キャンパス、2023 年 3 月 19 日
- ・ 「大学院科目で日本語教育における管理運営業務を扱う試み」中川健司・浦由実・半沢千絵美・金蘭美、第 59 回日本語教育方法研究会、オンライン開催、2022 年 9 月 10 日
- ・ 「円滑なコミュニケーションを行うための一手段—メール文に見られる共有情報を示す表現を例として—」金庭久美子・金蘭美、第 25 回 AJE ヨーロッパ日本語教育シンポジウム、ハイブリッド形式による開催、2022 年 8 月 26 日
- ・ 「メール文に見られる用件の切り出し方—タスクの種類および読み手配慮に焦点を当てて—」金蘭美・金庭久美子・金玄珠、韓国日本語教育学会第 40 回国際学術大会、2021 年 12 月 4 日
- ・ 「発信メールと返信メールに現れる「なら」の使用について」金蘭美・金庭久美子、第 57 回日本語教育方法研究会、オンライン開催 2021 年 9 月 10 日
- ・ 「24 種類のメール文タスクから見る「テシマウ」の使用状況」金蘭美・金庭久美子、韓国日語教育学会第 39 回春季国際学術大会、2021 年 4 月 24 日
- ・ 「「てしまう」の指導法に関する一考察—物語タスクにおける使用状況の分析から—」金蘭美・金庭久美子、第 56 回日本語教育方法研究会、オンライン開催、2021 年 3 月 16 日
- ・ 「初級から学べる段階別学習型作文支援システムの構築—データ収集システムの開発—」金蘭美・川村よし子・金庭久美子、日本語教育学会 2020 年度秋季大会、2020 年 11 月 29 日
- ・ 「作文支援システムで必要な 支援 についてメール文に焦点を当てて」金蘭美、韓国日本語学会第 41・42 回学術大会、於漢陽サイバー大学（オンライン開始）、2020 年 9 月 19 日
- ・ 「大学における留学生支援活動の多様な試み—相互交流と異文化理解のために—」金蘭美・半沢千絵美、韓国日語教育学会第 36 回国際学術大会、祥明大学校（韓国ソウル）、2019 年 12 月 7 日
- ・ 「日本語学習者における「テシマウ」の使用の特徴：YNU コーパス、及び 8 つのメールタスクデータを用いて」金庭久美子・金蘭美・曹娜、第一回日本語プロフェンシー研究学会国際大会、大連外国語大学、2019 年 11 月 2 日
- ・ 「韓国語を母語とする中上級日本語学習者の意見陳述にみられる特徴」金蘭美・半沢千絵美、韓国日語教育学会第 35 回国際学術大会、明知専門大学（韓国ソウル）、2019 年 4 月 27 日
- ・ 「大学体験を目的とした短期留学プログラム—アンケート結果から見えてきた改善の成果と今後の課題—」金蘭美・半沢千絵美、第 52 回日本語教育方法研究会、杏林大学、2019 年 3 月 23 日
- ・ 「日本語メール文に見られる伝聞表現—相手からの情報を前提情報とする場合—」金蘭美・金庭久美子・金玄珠、韓国日語教育学会第 34 回国際学術発表大会、建国大学、2018 年 12 月 8 日
- ・ 「メールタスクにおける「V ようと思う」の使用状況—日本語学習者と日本語母語話者の違いに着目して—」金蘭美・金庭久美子、第 51 回日本語教育方法研究会、国

士館大学、2018年9月8日

- ・ 「メール返信時の韓国人学習者の自分の意志を伝える表現—婉曲表現の有無に焦点を当てて—」金蘭美・金庭久美子・金玄珠、韓国日本学会第79回国際学術大会、建国大学、2018年8月25日
- ・ 「留学生支援と異文化理解を目的とした一般教養科目—短期留学プログラムのためのサポーター育成の実践と課題—」金蘭美・半沢千絵美、韓国日語教育学会、建国大学、2018年4月28日
- ・ 「これからの短期留学プログラムの形—アンケートの結果から見えてきた課題と展望—」金蘭美、半沢千絵美、小川誉子美、第50回日本語教育方法研究会、名古屋大学、2018年3月24日
- ・ 「メール文に見られる読み手配慮の日韓比較」金蘭美、金庭久美子、金玄珠、韓国日本語学会第36回国際学術発表大会、白石大学、2017年9月23日
- ・ 「相手の要求に応じられない場合の対応の仕方—メール文における日本語母語話者と日本語学習者の違い—」金庭久美子、金蘭美、橋本直幸、川村よし子、第49回日本語教育方法研究会、筑波大学、2017年9月16日
- ・ 「日本語学習者の接続詞使用からわかること—YNU日本語書き言葉コーパスを対象に—」金蘭美、第35回韓国日本語学会国際学術大会、忠南大学、2017年3月18日

②社会活動

- ・ 日本語教育部主催、高校生を対象とする公開講座の実施（「日本語教育と国際交流—留学生との対話を通じて—」（2020年2月15日）
- ・ 横浜国立大学主催、令和元年度神奈川県立光陵高等学校生に対する模擬授業の実施（日本語のおもしろさ・むずかしさ—韓国語からみた日本語—）（2019年12月4日）
- ・ 岡山大学主催、2019年度日韓共同プログラム留学生事業協議会にて講演（「日韓理工系学部留学生の卒業後の進路と社会における活躍—横浜国立大学卒業生の事例を通して—」（2019年6月28日）
- ・ 日本語教育部主催、高校生を対象とする公開講座の実施「日本語教育と国際交流—留学生との対話を通じて—」（2018年2月17日）
- ・ 日本語教育部主催、高校生を対象とする公開講座の実施（「日本語教育と国際交流—留学生との対話を通じて—」（2017年6月3日）、「日本語教育と国際交流—留学生との対話を通じて—」（2018年2月17日）
- ・ 専門日本語教育学会 第19回研究討論会実行委員（2016年3月～2017年3月）
- ・ 千葉大学国際教育センター主催、日本語教育研修会にて講演「文化から考える韓国人学習者の日本語について」千葉大学国際教育センター（2016年2月18日）
- ・ 韓国日本語学会一般理事（2015年10月～）

③学内活動

1. 学内委員

- ・ 情報システム運用部会（2021年4月～2022年3月）
- ・ 男女共同参画推進部会運営委員（2017年4月～2021年3月）
- ・ 全学教育部会委員（2017年4月～2021年3月、2022年4月～）
- ・ FD推進部会国際戦略推進機構選出委員（2015年4月～2016年3月）
- ・ 世宗大学校日本交流プログラム（2015年4月～）
- ・ 横浜国立大学日本語・日本文化プログラム（2016年4月～）
- ・ 日韓共同理工系学部留学生事業WG委員（2015年4月～2020年3月）

2. 基盤教育部門内委員

- ・ ときわの杜論叢編集委員（2017年4月～）

- 3. 日本語教育部内委員
 - ・ YNU日本語スピーチ大会実行委員 (2015年4月～)
- 4. 日本語教育部教務担当としての業務
 - ・ 教務担当として非常勤講師への連絡調整、日本語サポーターバンクの運営、学部新入留学生および全学PTの予定調整および実施等 (2017年4月～)
 - ・ 世宗プログラム生受け入れに向けた連絡調整および運営 (2015年4月～)
 - ・ 横浜国立大学日本語・日本文化プログラム受け入れに向けた連絡調整および運営 (2016年4月～)
 - ・ YNU日本語スピーチ大会実施に向けた連絡調整及び実施 (2015年4月～)
 - ・ YNUサマープログラム生受入に向けた連絡調整および実施 (2017年4月～2020年3月)
 - ・ 日韓プログラム生受け入れに向けた連絡調整 (2015年4月～2020年3月)
- 5. 海外との連携に関する業務
 - ① **韓国・ソウル出張 (2024/3/22-26)**
 - ・ 中央大学校 (韓国日本語学会参加)
 - ・ 世宗大学校 (世宗大学校日本交流プログラム生に対する事前オリエンテーションおよびプレイズメントテストの実施／関係者打ち合わせ)
 - ② **韓国・ソウル出張(2019/12/26-28)**
 - ・ 世宗大学にて、世宗プログラム関係者と意見交換
 - ・ 2020年度派遣予定学生を対象にプレイズメントテストを実施
 - ③ **韓国・ソウル出張(2019/8/20-24)**
 - ・ 慶熙大学校国際教育院にて 2020年度派遣予定の日韓プログラム予備教育生に対する授業参画実施
 - ・ 授業参画参加メンバーと韓国国立国際教院の研究士と日韓プログラム関連意見交換
 - ・ 日韓プログラム第2次20期生の修了式に参加
 - ④ **韓国・ソウル出張(2019/3/26-28)**
 - ・ 半沢准教授と世宗大学を訪問、2019年度世宗プログラム派遣予定者に対するPTおよび事前オリエンテーションの実施
 - ・ 関係者と協定更新、新規開講の授業に関する協議